

平成25年7月21日 生涯研修自由課程抄録

講師 松平 浩

演題1 「これからのコバルト・プロステック・アプライアンス」

抄録 コバルト合金は人工関節にも利用される生体親和性の高い金属であり微量添加物で硬度や使用目的をもコントロールすることが可能です。その技術によって天然歯の硬度とほぼ同じ硬度のコバルト合金も開発されています。その加工技術も変遷してきています。コバルト合金加工にはリン酸塩系埋没材が欠かせません。それらのコントロール法を解説させていただきたいと思います。

演題2 「頭蓋骨が教えてくれること」

抄録 私達が日常の業務として行っている補綴物の製作の根源は解剖学である。
過去に様々な勉強をさせていただき先輩方にご指導頂き補綴物の製作に携わってきましたがその大半が経験測であり勘所が多く後輩達に伝わりにくい部分があった。そこで自分なりの経験測のエビデンスを求めべく歯学部解剖学科履修生となり6年間頭部の解剖や頭蓋骨の計測を行ってきました。そこから見えてきたものを提示し皆様と検証してまいりたいと思います。